

「血小板減少症患者由来 iPS 細胞を用いた巨核球および血小板産生に関する研究」にご協力いただいたドナー様へ

平素より本研究にご協力いただき、誠にありがとうございます。ドナー様のご協力をもちまして、再生医療の実現等に向けた研究が着実に進展しております。

これまでにドナー様からご提供いただいた体細胞から作製した iPS 細胞を用いて、巨核球とその巨核球からの血小板を製造して、着実に研究を進めてまいりましたが、将来的な再度の投与を見越して、さらに安全性を確認するため、作成された巨核球および血小板の血栓の作りやすさや免疫学的特性の追加検証をすることとなりましたのでお知らせいたします。また、この追加検証は共同研究機関である千葉大学でも実施します。

ご不明点がございましたら、(2) 連絡窓口までご連絡下さい。

(1) 研究期間と研究組織

研究期間 : 倫理委員会承認日(2013年7月22日)~2024年3月31日

研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究所、京都大学医学部附属病院

研究統括研究者 : 臨床応用部門・教授・江藤 浩之

研究責任医師 : 血液内科・教授・高折 晃史

共同研究機関 :

日本赤十字社(血小板の品質評価担当)

慶應義塾大学(血小板の機能評価担当)

千葉大学(巨核球等のゲノム解析担当)

(2) 連絡窓口

ご不明の点等ございましたら担当コーディネーターまでご連絡ください。

担当コーディネーター : 向坂 智子

TEL : 070-6462-1590 (平日 10:00~17:00)

期間 : 2022年5月31日まで

以上